

## 幹事会・運営委員会報告

### 第Ⅲ期幹事会(第2回)

庶務幹事 鳥海 幸四郎、佐々木 聡

- 日 時： 平成9年7月24日(木) 午後1時30分 ～ 午後2時30分  
場 所： 兵庫県立先端科学支援センター セミナールーム1  
出席者： 菊田、佐々木、鳥海、松井、圓山、水木 佐久間(事務局)  
オブザーバー： 大野、植木、武田、牧田  
資 料： 1. 平成9年度SPring-8利用者懇談会の活動方針(資料1)  
2. 幹事・顧問一覧表(資料2)  
3. SPring-8利用者懇談会平成8年度決算(資料3-1)  
4. SPring-8利用者懇談会平成9年度予算(資料3-2)  
5. 合同シンポジウム(資料4)  
6. 編集幹事報告事項(資料5)  
7. 建設期における共同チームへの要望事項(資料6)  
8. SPring-8利用者懇談会会則(資料7)

議題及び報告事項：

- 1、会長、各幹事報告  
詳細は運営委員会議事録を参照。
- 2、平成9年度予算案について  
詳細は運営委員会議事録を参照。
- 3、SPring-8共用開始にむけて
- 4、その他

### 第Ⅳ期運営委員会(第1回)

- 日 時： 平成9年7月24日(木) 午後2時30分 ～ 午後5時  
場 所： 兵庫県立先端科学支援センター セミナールーム1  
出席者： 菊田、川村、木原、佐々木、月原、辻、虎谷、鳥海、難波、松井、圓山、三木、  
水木、 佐久間(事務局)  
オブザーバー： 大野、植木、武田、牧田

- 資料： 1. 平成9年度SPring-8利用者懇談会の活動方針（資料1）  
2. 幹事・顧問一覧表（資料2）  
3. SPring-8利用者懇談会平成8年度決算（資料3-1）  
4. SPring-8利用者懇談会平成9年度予算（資料3-2）  
5. 合同シンポジウム（資料4）  
6. 編集幹事報告事項（資料5）  
7. 建設期における共同チームへの要望事項（資料6）  
8. SPring-8利用者懇談会会則（資料7）

議題及び報告事項：

1、本年度の利用者懇談会の活動方針

菊田会長より平成9年度の活動方針が述べられた（資料1、2）。

- ・ JASRIからの受託業務を実施する。
- ・ SPring-8利用計画調査委員会を設置し、ビームラインの計画の検討、利用研究の調査など。
- ・ 共同利用の円滑化および効果的な研究遂行のために、利用者の立場から共同チームへ必要な要請を行う。特に、利用が始まるサブグループからの要望に配慮する。
- ・ 共用ビームラインの各フェーズに対応した建設や計画立案に協力する。特に今年度は、建設から利用へ移行する大切な時期であり、最大限の努力で望ましい形に持っていく。
- ・ 国際ワークショップを共催する。
- ・ 放射光科学合同シンポジウムを共催し、SPring-8利用者懇談会総会を開催する。
- ・ 広報誌「光彩」を発行する。
- ・ 会員名簿を発刊する。
- ・ 現状に対応するため会則の変更を行う。
- ・ その他。

2、各幹事報告および審議事項

庶務幹事

- ・ 新規会員55名を承認した。
- ・ 本年度会員名簿を1998年3月に発刊する。平成10年2月の郵便番号変更に対応し、新郵便番号を追加する。
- ・ 運営委員選挙の日程を早め12月中に終了するようにする。会員名簿の発行が遅れるので、新会員の追加リストを準備する。
- ・ 運営委員選挙の選挙管理委員として3名を会長に推薦した。

会計幹事

- ・ 平成8年度決算報告が行われた（資料3-1）。
- ・ 平成9年度予算について報告が行われた（資料3-2）。
- ・ サブグループの活動が適時に行えるよう資金的に支援するが、上半期は特に節約していく。

#### 行事幹事

- ・平成9年度放射光科学合同シンポジウムが、平成10年1月9日から11日まで、姫路工大・兵庫県立先端科学支援センター（CAST）で開催される（資料4）。
- ・SPring-8利用者懇談会総会を1月9日午後3時からCAST大ホールで開催する。  
又、総会前の午前11時より、運営委員会を開催する。

#### 編集幹事

- ・光彩14号をすでに発行した。光彩15号を9月に発行する予定である（資料5）。
- ・光彩16号以降は「SPring-8利用者情報」にマージすることを検討している。  
7月24日に第1回合同編集会議を開催した。

#### 利用幹事

- ・現在実験ステーションの建設作業にあっているサブグループに対して、共同チームへの要望をアンケート調査した。
- ・6月6日に開催された幹事会で共同チームに提出し回答を得た。光彩14号にその内容を掲載した。
- ・アンケートで回答をいただいたサブグループに詳細な報告を行った（資料6）。

### 3、共同チームからの現状報告

- ・3月25日には8GeVの電子ビーム蓄積に成功し、翌26日にはビームラインで放射光発生が確認された。
- ・6月にビームラインの使用前、使用時検査が行われ合格した。
- ・7月7日の夕方からビームラインで光を使った本格的な調整を開始した。
- ・7月12日の夕方5時まで、約1週間ビーム実験を行った。
- ・9月1日からビームが再び出る予定である。
- ・平成9年度後期の前半は主としてビームライン、ステーションの立ち上げを行い、後半には共同利用実験を若干開始したい。
- ・11本目以降の計画について。ビームライン検討委員会から更に6本を建設すべしとの答申があった。
- ・7月25日午前9時10分から午後4時まで、SPring-8施設コミッションング報告会がCASTで開催される。

### 4、共用ビームラインに関わる要望について

- ・サブグループ会合および建設に関する要望事項が、説明された（資料6）。
- ・6月の幹事会での共同チーム・JASRIとの意見交換の内容が報告された。
- ・今後も調査を随時行い、建設期に現れる問題に対処する。

### 5、会則の改訂について

- ・建設フェーズから利用フェーズに移行するにあたり、会則の文面の一部が現状に合わなくなっている（資料7）。
- ・全体の整合性も含め会則の改訂を検討することとした。本運営委員会の審議結果を庶務幹事がまとめ改訂案を作成し、運営委員間で電子メールにより更に検討を加えることとした。

### 6、その他